科目名		成人看護学概論			
教育内容	専門分野 成人看護学	履修年次	1年次	履修時期	9月～1月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	専任教員	実務経験	看護師実務経験あり		
科目目的	成人各期の特徴と、成人保健の動向・健康に影響する諸因子を学び、健康の保持・増進に向けた看護の役割を理解する。				
学習目標	1. 成人看護の意義と役割を理解する。 2. 成人各期の特徴を、身体的・精神的・社会的側面と発達課題から総合的に理解する。 3. 健康に影響を及ぼす諸因子について理解する。 4. 成人保健の動向を理解する。 5. 成人各期における健康上の諸問題と、疾病予防、健康の保持・増進に向けた看護の役割を理解する。 6. 成人の特性や能力に応じた看護アプローチの基本を学ぶ。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	I. 成人看護学の意義と役割 1. 成人看護学とは 2. 成人看護学の構成と位置づけ 3. 成人看護学の理念と目的 4. 成人看護学の対象 5. シラバスの説明			講義
	1	II. 成人期のある人の特徴 1. 対象の理解			講義 レポート課題有
	2	1) ライフサイクルから見た成人期と成人期の区分			
	3	2) 生涯発達について 3) 発達段階と発達課題 4) 成人各期の発達段階の特徴と発達課題 (1) 青年期(大人になること) (2) 壮年期・中年期(大人であること)			
	4	2. 対象の生活 1) 生活を営むこと 2) 仕事を持ち、働くこと 3) ワークライフバランス			
4	III. 成人の生活の特徴 1. 成人を取り巻く環境(人口・経済・環境問題) 2. 成人のライフスタイルの特徴 1) ライフスタイルや働き方の特徴と広がり ① 晩婚化・未婚化、少子化 ② 女性の就業 ③ 高齢者の就労 2) 日常の暮らしの特徴と多様性 ① 休養・睡眠 ⑤ 肥満とやせ ② 運動習慣 ⑥ 喫煙 ③ 食生活の特徴 ⑦ 飲酒 ④ 肥満とやせ ⑧ ソーシャルメディアと依存			講義	
5	IV. 健康指標に見る成人の特徴 1. 人口構成 2. 平均寿命と死亡の動向 3. 健康格差 3. 職業性疾病・業務上疾病 4. 受療状況 5. 生活習慣病 6. メンタルヘルスと自殺者数			講義	

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

	回	授業内容	授業方法
授業計画	6	V. 成人の健康上の課題 1. 成人と死 2. ストレスと健康 1)健康バランスの構成要素と健康バランスに影響を及ぼす因子 2)ストレスとは ①セリエの生物学的ストレス ②ストレス因子に対する適応の過程	講義
	7	VI. 成人の健康を保持・増進するための活動 1. 成人にとっての健康の意義 2. 生活と健康を守り育むシステム 1)保健・医療・福祉にかかわる施策の概要 2)家庭・地域社会における成人の健康生活を育む活動 3. 生活行動から見た健康生活の脅かし ～「健康日本21(第2次)」で示された、生活習慣や生活習慣病の10領域より～	講義
	8		グループワーク 発表と意見交換
	12		
	13		
	14	VII. 成人看護に有用な概念・理論 1. 学習者としての成人の特徴 アンドラゴジー(成人教育学) 2. 成人看護で活用される概念・理論 1)ストレス・コーピング理論 2)危機理論 3)エンパワメント 4)自己効力理論	講義
	9	試験	講義
	10		講義 ペアワーク
	11		
	15		
使用教材	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学①成人看護学総論 医学書院 2. 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 最新版		
参考文献	講義の際に紹介します		
成績評価の方法	筆記試験90点、レポート課題およびグループワークへの取り組み10点、合わせて100点とし、60点以上をもって及第点とする。単位認定は、講義参加態度や出席状況からも総合的に判断する。		

科目名		成人看護学援助論 I (呼吸、循環)			
教育内容	専門分野 成人看護学	履修年次	1年次	履修時期	10月～2月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	実務経験のある看護師 専任教員	実務経験	成人看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	呼吸、循環機能障害をもつ成人期の対象を理解し、健康レベル・経過に応じた看護を実践できる基礎的能力を養う。				
学習目標	1. 呼吸、循環機能障害をもつ人の症状・障害のアセスメント、検査・治療・処置とその看護が理解できる。 2. 呼吸、循環機能障害をもつ人の病期や機能障害に応じた看護が理解できる。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	単元:呼吸機能障害をもつ人の看護 担当:看護師(特定行為研修受講完了) ※ 講義のガイダンス 1. 症状・障害のアセスメントと看護 酸化化障害、換気障害、呼吸運動障害(咳嗽、喀痰、喀血、チアノーゼ、呼吸困難、胸痛) 2. 検査と看護 動脈血ガス分析、呼吸機能検査、気管支鏡検査 3. 治療・処置と看護 胸腔穿刺、肺生検、酸素療法、胸腔ドレナージ、吸入による薬物療法 非侵襲陽圧換気、侵襲的陽圧換気、パルスオキシメータ 肺理学療法、化学療法、薬物療法、手術療法 4. 病期や機能障害に応じた看護 共通内容 ● 症状、障害の程度と生命・生活への影響のアセスメント ● 症状、障害によってもたらされる身体症状の改善に向けた援助 ● 生命の危機状態に対する治療・処置時の援助、検査時の援助 ● 合併症の早期発見と早期対処 ● 症状悪化予防に向けた自己管理と社会復帰に向けた援助 ● 危機的状況や不安に対する心理的援助 ● 手術を受ける患者の看護 術前のアセスメント、合併症の早期発見と予防、手術に伴う苦痛の緩和、セルフケア習得に向けた援助 1)腫瘍(肺がん・中皮腫) 2)炎症性疾患(肺炎・気管支炎・胸膜炎) 3)慢性閉塞性肺疾患 4)気管支喘息 1)～4)の病期や機能障害に応じた看護を7回で講義する。 内容1～3からそれぞれの病期・障害の看護に該当することを含めて説明する。			※7回に共通講義 ペアワーク 医療機器、シミュレーション教材を用いた学習
8	単元:循環機能障害をもつ人の看護 担当:専任教員 ※ 講義のガイダンス 1. 循環機能障害をもつ患者の特徴と看護師の役割 2. 循環機能障害をもつ患者における経過別看護の特徴 3. 循環機能障害の観察とアセスメントの基本 1)循環機能障害のアセスメント 2)心身・日常生活への影響(急性期・慢性期) 4. 病期や機能障害に応じた看護 9～14回目までの共通授業内容 ● 症状、障害の程度と生命・生活への影響のアセスメント ● 症状、障害によってもたらされる身体症状の改善に向けた援助 ● 生命の危機状態に対する治療・処置時の援助、検査時の援助 ● 合併症の早期発見と早期対処 ● 症状悪化予防に向けた自己管理と社会復帰に向けた援助 ● 危機的状況や不安に対する心理的援助 ● 手術を受ける患者の看護:術前のアセスメント、術後の合併症の早期発見と予防、手術に伴う苦痛の緩和、セルフケア習得に向けた援助			※7回に共通講義 ペアワーク 医療機器、シミュレーション教材を用いた学習	

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

	回	授業内容	授業方法
授業計画	9	1)心不全患者の看護 心不全のおさらい、急性増悪から回復期・慢性期における看護	
	10	2)虚血性心疾患(心筋梗塞・狭心症)患者の看護(1) 虚血性心疾患の病態のおさらい、狭心症患者の看護	
	11	2)虚血性心疾患(心筋梗塞・狭心症)患者の看護(2) 急性心筋梗塞の病態のおさらい、急性期・回復期の看護	
	12	3)弁膜症患者の看護 弁膜症について 基礎知識おさらい	
	13	4)手術を受ける患者の看護 心臓血管外科手術、弁置換術、冠動脈バイパス術	
	14	5)不整脈患者の看護 心電図モニター、不整脈の原因と分類、不整脈の危険度の判断 ペースメーカーを装着した患者の看護	
	15	6)閉塞性動脈硬化症(動脈閉塞性疾患)患者の看護 試験	
使用教材	単元 呼吸機能:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学② 呼吸器 医学書院 単元 循環機能:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学③ 循環器 医学書院		
参考文献	看護過程に沿った病態生理と看護のポイント 対象看護 学研 他、適宜提示		
成績評価の方法	筆記試験80%、授業態度(グループワーク等参加姿勢・課題学習の取り組み)20%		

科目名		成人看護学援助論Ⅱ(栄養・消化、排泄、代謝)			
教育内容	専門分野 成人看護学	履修年次	1年次	履修時期	10月～2月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	認定看護師 専任教員、看護師	実務経験	成人看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	栄養摂取・消化、排泄、代謝機能障害をもつ成人期の対象を理解し、健康レベル・経過に応じた看護を実践できる基礎的能力を養う。				
学習目標	1. 栄養摂取・消化、排泄、代謝機能障害をもつ人の症状・障害のアセスメント、検査・治療・処置とその看護が理解できる。 2. 栄養摂取・消化、排泄、代謝機能障害をもつ人の病期や機能障害に応じた看護が理解できる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法		
	1	単元:栄養摂取・消化機能障害をもつ人の看護 担当:専任教員 又は 実務経験のある看護師 ※ 講義のガイダンス 1. 症状・障害のアセスメントと看護 咀嚼・嚥下障害、消化管機能障害(嚥下困難、おくび・胸やけ、吐き気・嘔吐、腹痛、吐血・下血、下痢、便秘、腹部膨満、食欲不振) 膵液分泌障害、胆汁分泌障害(肝機能障害、黄疸、肝性脳症) 2. 検査と看護 上部消化管内視鏡、大腸内視鏡、消化管造影、超音波検査 内視鏡的逆攻勢胆管膵管造影(ERCP)、造影CT・MRI 肝生検、腹腔鏡下検査 3. 治療・処置と看護 経静脈栄養法、チューブ・ドレーンの管理、食道静脈瘤内視鏡療法 肝庇護療法、肝動脈塞栓術、インターフェロン療法 胆道・胆嚢ドレナージ、食道静脈瘤硬化療法、腹水穿刺 化学療法、手術療法、食事療法 4. 病期や機能障害に応じた看護 共通内容 ● 症状、障害の程度と生命・生活への影響のアセスメント ● 症状、障害によってもたらされる身体症状の改善に向けた援助 ● 生命の危機状態に対する治療・処置時の援助、検査時の援助 ● 合併症の早期発見と早期対処 ● 症状悪化予防に向けた自己管理と社会復帰に向けた援助 ● 危機的状況や不安に対する心理的援助 ● 手術を受ける患者の看護:術前のアセスメント、合併症の早期発見と予防、手術に伴う苦痛の緩和、セルフケア習得に向けた援助	※6回に共通 講義 ペアワーク グループワーク 医療機器、シミュレーション教材を用いた学習		
2 3 4 5 6	1) 上部消化管腫瘍(食道がん・胃がん) 2) 潰瘍性疾患(胃・十二指腸潰瘍) 3) 肝炎・肝硬変 4) 胆石症・胆嚢炎 5) 膵炎 6) 肝がん 1)～6)の病期や機能障害に応じた看護を6回で講義する。 内容1～3からそれぞれの病期・障害の看護に該当することを含めて説明する。				
7	単元:排泄機能障害をもつ人の看護 担当:皮膚排泄ケア認定看護師 ※ 講義のガイダンス 1. 症状・障害のアセスメントと看護 消化管機能障害(嚥下困難、おくび・胸やけ、吐き気・嘔吐、腹痛、吐血・下血、下痢、便秘、腹部膨満、食欲不振) 畜尿・排尿障害(頻尿、残尿、尿閉、血尿、尿失禁、疼痛) 2. 検査と看護 大腸内視鏡、消化管造影、超音波検査、造影CT・MRI	※5回に共通 講義 ペアワーク グループワーク 医療機器、シミュレーション教材を用いた学習			

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

回	授業内容	授業方法
	静脈性尿路造影、膀胱鏡	
8	3. 治療・処置と看護 直腸診、経腸・経静脈栄養法、ストーマ管理、チューブ・ドレーンの管理 カテーテル管理(膀胱、腎・膀胱瘻)、自己導尿 化学療法、手術療法、食事療法	
9	4. 病期や機能障害に応じた看護	
10	共通内容 ● 症状、障害の程度と生命・生活への影響のアセスメント ● 症状、障害によってもたらされる身体症状の改善に向けた援助 ● 生命の危機状態に対する治療・処置時の援助、検査時の援助	
11	● 合併症の早期発見と早期対処 ● 症状悪化予防に向けた自己管理と社会復帰に向けた援助 ● 危機的状況や不安、ボディイメージの変化に対する心理的援助 ● 手術を受ける患者の看護:術前のアセスメント、合併症の早期発見と予防、手術に伴う苦痛の緩和、セルフケア習得に向けた援助	
	1) 下部消化管腫瘍(大腸がん、結腸がん) 2) 炎症性疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病) 3) 腫瘍(腎がん、膀胱がん)	
	1)~3)の病期や機能障害に応じた看護を5回で講義する。 内容1~3からそれぞれの病期・障害の看護に該当することを含めて説明する。	
12	単元:代謝機能障害をもつ人の看護 担当:糖尿病認定看護 ※ 講義のガイダンス	
13	1. 症状・障害のアセスメントと看護 代謝機能障害、血糖調節機能障害(高血糖、低血糖、るい瘦、体重増加)	※3回に共通講義
14	2. 検査と看護 簡易血糖測定、自己血糖測定(SMBG)、糖負荷試験	ペアワーク グループワーク
15	3. 治療・処置と看護 薬物療法(インスリン補充療法、経口糖尿病薬)、食事療法	医療機器、シミュレーション教材を用いた学習
	4. 病期や機能障害に応じた看護	
	共通内容 ● 症状、障害の程度と生命・生活への影響のアセスメント ● 症状、障害によってもたらされる身体症状の改善に向けた援助 ● 生命の危機状態に対する治療・処置時の援助、検査時の援助 ● 合併症の早期発見と早期対処 ● 症状悪化予防に向けた自己管理と社会復帰に向けた援助 ● 危機的状況や不安に対する心理的援助 ● 手術を受ける患者の看護:術前のアセスメント、合併症の早期発見と予防、手術に伴う苦痛の緩和、セルフケア習得に向けた援助	
	1)糖尿病(1型・2型) 2)高尿酸血症・脂質異常症・肥満	
	1)~2)の病期や機能障害に応じた看護を3回で講義する。 内容1~3からそれぞれの病期・障害の看護に該当することを含めて説明する。	
	試験	
使用教材	単元 栄養・消化機能:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑤ 消化器 医学書院 単元 排泄機能:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑤ 消化器 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑧ 腎・泌尿器 医学書院 単元 代謝機能:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 医学書院	
参考文献	看護過程に沿った病態生理と看護のポイント 対象看護 学研 他	
成績評価の方法	筆記試験80%、授業態度(グループワーク等参加姿勢・課題学習の取り組み)20%	

科目名		成人看護学援助論Ⅲ(運動、脳・神経、感覚)			
教育内容	専門分野 成人看護学	履修年次	2年次	履修時期	4月～8月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	看護師	実務経験	成人看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	運動、脳・神経、感覚機能障害をもつ成人期の対象を理解し、健康レベル・経過に応じた看護を 実践できる基礎的能力を養う。				
学習目標	1. 運動、脳・神経、感覚機能障害をもつ人の症状・障害のアセスメント、検査・治療・処置とその 看護が理解できる。 2. 運動、脳・神経、感覚機能障害をもつ人の病期や機能障害に応じた看護が理解できる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法		
	1	<p>単元:運動機能障害をもつ人の看護 担当:実務経験のある看護師</p> <p>※ 講義のガイダンス</p> <p>1. 症状・障害のアセスメントと看護 姿勢機能障害、移動機能障害、 作業機能障害(神経麻痺、循環障害とフォルクマン拘縮、疼痛) 感染、出血、深部静脈血栓</p> <p>2. 検査と看護 関節可動域(ROM)検査、徒手筋力テスト(MMT)、椎間板造影(脊髄造影) 膝関節鏡、筋生検、関節造影</p> <p>3. 治療・処置と看護 ギプス固定、シーネ固定、牽引療法、手術療法(人工関節置換術) ROM訓練、装具の装着、歩行補助具・自助具の適応</p> <p>4. 病期や機能障害に応じた看護</p> <p>共通内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 症状、障害の程度と生命・生活への影響のアセスメント ● 症状、障害によってもたらされる身体症状の改善に向けた援助 ● 生命の危機状態に対する治療・処置時の援助、検査時の援助 ● 合併症の早期発見と早期対処 ● 症状悪化予防に向けた自己管理と社会復帰に向けた援助 ● 危機的状況や不安に対する心理的援助 ● 手術を受ける患者の看護:術前のアセスメント、合併症の早期発見と予防、手術に伴う苦痛の緩和、セルフケア習得に向けた援助 <p>1) 関節リウマチ(変形性膝関節症) 2) 脊椎疾患(椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、迂り症など) 3) 四肢切断後 4) 脊髄損傷</p> <p>1)～4)の病期や機能障害に応じた看護を5回の講義に分けて説明する。 また、該当する内容1～3を含めて説明する。</p>	<p>※5回に共通 講義 ペアワーク グループワーク</p> <p>医療機器、シ ミュレーション教 材を用いた学習</p>		
6	<p>単元:脳・神経機能障害をもつ人の看護 担当:実務経験のある看護師</p> <p>※ 講義のガイダンス</p> <p>1. 症状・障害のアセスメントと看護 生命維持活動調節機能障害(意識障害、けいれん、嚥下障害、排尿障害、呼吸障 害、頭蓋内圧亢進) 運動・感覚機能障害(運動麻痺、運動失調・不随意運動、感覚障害) 言語機能障害(失語症、構音障害) 高次脳機能障害(失認、執行、記憶障害)</p> <p>2. 検査と看護 脳波検査・髄液検査、脳血管造影、筋電図検査、神経・反射検査</p> <p>3. 治療・処置と看護 開頭術、穿頭術、血管バイパス術、血管内治療、脳室ドレナージ術 脳室-腹腔<V-P>シャント術、低体温療法、機能訓練、薬物療法 放射線療法、γナイフ治療</p>	<p>※6回に共通 講義 ペアワーク グループワーク</p> <p>医療機器、シ ミュレーション教 材を用いた学習</p>			

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

	回	授業内容	授業方法	
	7	4. 病期や機能障害に応じた看護		
授業計画	8	共通内容		
	9	● 症状、障害の程度と生命・生活への影響のアセスメント ● 症状、障害によってもたらされる身体症状の改善に向けた援助		
	10	● 生命の危機状態に対する治療・処置時の援助、検査時の援助 ● 合併症の早期発見と早期対処 ● 症状悪化予防に向けた自己管理と社会復帰に向けた援助 ● 危機的状況や不安に対する心理的援助		
	11	● 手術を受ける患者の看護:術前のアセスメント、合併症の早期発見と予防、手術に伴う苦痛の緩和、セルフケア習得に向けた援助		
		1) 脳血管障害(クモ膜下出血・脳梗塞) 2) 脳腫瘍 3) 感染症(脳炎・髄膜炎) 4) 筋萎縮性側索硬化症・重症筋無力症・ギランバレー症候群		
		1)～4)の病期や機能障害に応じた看護を6回の講義に分けて説明する。 また、該当する内容1～3を含めて説明する。		
	12	単元: 感覚機能障害をもつ人の看護 担当: 実務経験のある看護師 ※ 講義のガイダンス 1. 症状・障害のアセスメントと看護 聴覚障害(難聴、耳鳴、耳痛・耳漏、めまい) 臭覚障害(鼻閉・鼻漏) その他(鼻出血、咽頭痛、音声・嚥下の障害、味覚障害) 視覚障害(視力障害、視野・色覚異常、複視、飛蚊症) その他(充血、流涙、眼脂、羞明、異物感、眼痛、眼球突出など) 2. 検査と看護 聴力検査、味覚検査、経鼻的内視鏡検査 視力・視野測定、眼底検査、眼圧検査 3. 治療・処置と看護 手術療法(喉頭・咽頭摘出術、鼓膜形成術、眼内レンズ挿入) 薬物療法、点眼、洗眼、局所注射、眼底光凝固療法、網膜剥離治療 4. 病期や機能障害に応じた看護		※3回に共通講義 ペアワーク グループワーク 医療機器、シミュレーション教材を用いた学習
	13	共通内容		
	14	● 症状、障害の程度と生命・生活への影響のアセスメント ● 症状、障害によってもたらされる身体症状の改善に向けた援助 ● 生命の危機状態に対する治療・処置時の援助、検査時の援助 ● 合併症の早期発見と早期対処 ● 症状悪化予防に向けた自己管理と社会復帰に向けた援助 ● 危機的状況や不安に対する心理的援助 ● 手術を受ける患者の看護:術前のアセスメント、合併症の早期発見と予防、手術に伴う苦痛の緩和、セルフケア習得に向けた援助		
		1) 喉頭・咽頭がん 2) メニエール 3) 副鼻腔炎・慢性中耳炎 4) 緑内障・網膜剥離・網膜症(中途視覚障害を含む)		
		1)～4)の病期や機能障害に応じた看護を3回の講義に分けて説明する。 また、該当する内容1～3を含めて説明する。		
	15	15		試験
使用教材		単元 運動機能:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑩ 運動器 医学書院 単元 脳・神経機能:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑦ 脳・神経 医学書院 単元 感覚機能:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑭ 耳鼻咽喉 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑬ 眼 医学書院		
参考文献		看護過程に沿った病態生理と看護のポイント 対象看護 学研 他		
成績評価の方法		筆記試験80%、授業態度(グループワーク等参加姿勢・課題学習の取り組み)20%		

科目名		成人看護学援助論Ⅳ(内部環境調節、生体防御、性生殖・乳腺)			
教育内容	専門分野 成人看護学	履修年次	2年次	履修時期	8月～12月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	認定看護師 専任教員、看護師	実務経験	成人看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	内部環境調節、生体防御・免疫、性・生殖・乳腺機能障害をもつ成人期の対象を理解し、健康レベル・経過に応じた看護を実践できる基礎的能力を養う。				
学習目標	1. 内部環境調節、生体防御・免疫、性・生殖・乳腺機能障害をもつ人の症状・障害のアセスメント、検査・治療・処置とその看護が理解できる。 2. 内部環境調節、生体防御・免疫、性・生殖・乳腺機能障害をもつ人の病期や機能障害に応じた看護が理解できる。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	単元：内部環境調節機能障害をもつ人の看護 担当：専任教員 又は 実務経験のある看護師 ※ 講義のガイダンス 1. 症状・障害のアセスメントと看護 体液量・電解質調節機能障害、畜尿・排尿機能障害(浮腫、高血圧、頻尿、残尿、尿閉、血尿、尿失禁、疼痛) 甲状腺機能障害、副腎機能障害、下垂体機能障害(るい瘦、体重増加、容貌の変化、循環器症状、神経・筋症状) 2. 検査と看護 腎生検、尿検査、静脈性尿路造影、尿流動態検査、残尿測定 膀胱鏡、ホルモン血中・尿中濃度測定、ホルモン負荷試験 3. 治療・処置と看護 カテーテル留置(膀胱、腎・膀胱瘻)、透析療法(腹膜、血液) 急性期持続血液濾過透析、手術療法(腎移植、碎石術、甲状腺切除術) 薬物療法、食事療法、甲状腺ホルモン療法 4. 病期や機能障害に応じた看護 共通内容 ● 症状、障害の程度と生命・生活への影響のアセスメント ● 症状、障害によってもたらされる身体症状の改善に向けた援助 ● 生命の危機状態に対する治療・処置時の援助、検査時の援助 ● 合併症の早期発見と早期対処 ● 症状悪化予防に向けた自己管理と社会復帰に向けた援助 ● 危機的状況や不安に対する心理的援助 ● 手術を受ける患者の看護：術前のアセスメント、合併症の早期発見と予防、手術に伴う苦痛の緩和、セルフケア習得に向けた援助 1) 急性腎不全 2) 慢性腎不全・慢性腎臓病 3) 腎臓移植術 4) 腎・尿路結石 5) 甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症・低下症) 6) 腫瘍(甲状腺がん・下垂体腫瘍) 1)～6)の病期や機能障害に応じた看護を7回の講義に分けて説明する。 また、該当する内容1～3を含めて説明する。			※5回に共通 講義 ペアワーク グループワーク 医療機器、シミュレーション教材を用いた学習
6	単元：生体防御機能・免疫機能障害をもつ人の看護 担当：がん化学療法認定看護師 ※ 講義のガイダンス 1. 症状・障害のアセスメントと看護 骨髄機能障害(貧血、出血傾向、白血球減少に伴う症状) GVHD(急性・慢性) 皮膚粘膜障害(皮疹、粘膜症状) 免疫機能障害(関節痛・関節炎、レイノー現象、発熱、筋症状) 2. 検査と看護 骨髄検査、血液検査、血清・免疫学的検査			※6回に共通 講義 ペアワーク グループワーク 医療機器、シミュレーション教材を用いた学習	

	回	授業内容	授業方法
	7 8 9 10	<p>3. 治療・処置と看護 造血幹細胞移植、輸血療法、がん化学療法、放射線療法 クリーンルームの管理 薬物療法(非ステロイド性抗炎症薬、副腎皮質ステロイド、免疫抑制薬抗リウマチ薬)、抗ヒト免疫不全ウイルス<HIV>療法</p> <p>4. 病期や機能障害に応じた看護</p> <p>共通内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 症状、障害の程度と生命・生活への影響のアセスメント ● 症状、障害によってもたらされる身体症状の改善に向けた援助 ● 生命の危機状態に対する治療・処置時の援助、検査時の援助 ● 合併症の早期発見と早期対処 ● 症状悪化予防に向けた自己管理と社会復帰に向けた援助 ● 危機的状況や不安に対する心理的援助 ● 手術を受ける患者の看護:術前のアセスメント、合併症の早期発見と予防、手術に伴う苦痛の緩和、セルフケア習得に向けた援助 <p>1) 血液悪性疾患(白血病・骨髄腫) 2) 造血幹細胞移植を受ける患者の看護 3) 自己免疫疾患(関節リウマチ・SLE) 4) ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感染症</p> <p>1)～4)の病期や機能障害に応じた看護を6回の講義に分けて説明する。 また、該当する内容1～3を含めて説明する。</p>	
授業計画	11 12 13 14	<p>単元:性・生殖・乳腺機能障害をもつ人の看護 担当:乳がん認定看護師</p> <p>※ 講義のガイダンス</p> <p>1. 症状・障害のアセスメントと看護 性・生殖機能障害(ショック状態、性器出血、帯下・掻痒感、疼痛、リンパ浮腫、下腹部膨満・腫瘍感) ホルモン欠落症状(自律神経失調症・不定愁訴、月経異常、更年期障害)</p> <p>2. 検査と看護 内診、細胞診、組織診、ヒトパピローマウイルス(HPV)検査 腹部・経膈・乳房超音波検査、マンモグラフィ</p> <p>3. 治療・処置と看護 薬物療法(ホルモン)、放射線療法、手術療法 リマンマ製品、機能訓練</p> <p>4. 病期や機能障害に応じた看護</p> <p>共通内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 症状、障害の程度と生命・生活への影響のアセスメント ● 症状、障害によってもたらされる身体症状の改善に向けた援助 ● 生命の危機状態に対する治療・処置時の援助、検査時の援助 ● 合併症の早期発見と早期対処 ● 症状悪化予防に向けた自己管理と社会復帰に向けた援助 ● 危機的状況や不安、ボディイメージの変化に対する心理的援助 ● 手術を受ける患者の看護:術前のアセスメント、合併症の早期発見と予防、手術に伴う苦痛の緩和、セルフケア習得に向けた援助 <p>1) 女性生殖器の疾患(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫) 2) 女性生殖器の腫瘍(子宮体がん、子宮頸がん、卵巣がん) 3) 乳がん</p> <p>1)～4)の病期や機能障害に応じた看護を7回の講義に分けて説明する。 また、該当する内容1～3を含めて説明する。</p>	※3回に共通講義 ペアワーク グループワーク 医療機器、シミュレーション教材を用いた学習
	15	試験	
使用教材		<p>単元 内部環境調節: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑧ 腎・泌尿器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 医学書院</p> <p>単元 生体防御・免疫: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 血液・造血器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑪ アレルギー・膠原病・感染症 医学書院</p> <p>単元 性・生殖・乳腺機能: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑨ 女性生殖器 医学書院</p>	
参考文献		看護過程に沿った病態生理と看護のポイント 対象看護 学研 他	
成績評価の方法		筆記試験80%、授業態度(グループワーク等参加姿勢・課題学習の取り組み)20%	

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		成人看護学援助論Ⅴ(看護過程の展開)			
教育内容	専門分野 成人看護学	履修年次	2年次	履修時期	12月～3月
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	専任教員	実務経験	看護師実務経験あり		
科目目的	働いて家族と共に生活を営む成人期にある対象の事例をもとに、既習の知識を統合させながら、健康レベル・経過に応じた看護の展開を学ぶ。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 看護を実践するために必要な予言ハイブリッドに注目し、実際に予言を採めることができる。 各事例の病理的状態や行われている治療、処置、検査とその看護を関連づけて理解できる。 周手術期、慢性期、終末期にある患者の状態に応じた看護過程の展開が事例を通して理解できる。 周手術期、慢性期、終末期患者とその家族に起こりやすい健康問題と家族の特徴が理解できる。 カリキュラムシミュレーションの実践を学ぶ。 				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	1. 成人看護学援助論Ⅴの概要説明 2. 事例紹介と課題提示(1) 1)「直腸切断術を受けた患者の看護事例」			講義 ビデオ視聴
	2	2. 事例紹介と課題提示(2) 2)「糖尿病教育入院患者の看護事例」 3)「肺癌のターミナル期にある患者の看護事例」			講義 ビデオ視聴
	3	3. グループワークの説明 4. グループワークの取り組み(1) 看護計画の立案			講義 グループワーク
	4	4. グループワークの取り組み(2) 看護計画の立案 発表準備			グループワーク
	5～7	5. グループワーク結果発表(1) 5. グループワーク結果発表(2)(3) 全体のまとめと補足説明			発表と質疑応答 教員より説明
8	試験				
使用教材	<p>授業計画を参照し、必要と思われるテキスト、文献を各自用意してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学① 成人看護学総論 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学② 呼吸器 成人看護学⑤ 消化器 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 系統看護学講座 別巻1 臨床外科看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅰ 臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 別巻 緩和ケア 系統看護学講座 別巻 がん看護学 臨床看護学叢書2 経過別看護 第2版 メヂカルフレンド社 看護過程に沿った病態生理と看護のポイント 対象看護 学研 周手術期看護 安全・安楽な看護の実践 インターメディカ ……他いろいろ <p>《使用DVD》</p> <ol style="list-style-type: none"> 看護のためのアセスメント事例集 Vol.4 直腸切断術を受けた患者の看護事例 看護のためのアセスメント事例集 Vol.3 糖尿病教育入院患者の看護事例 看護のためのアセスメント事例集 Vol.12 肺がんのターミナル期にある患者の看護事例 				
参考文献	<p>①日総研 事例を通してやさしく学ぶ 中範囲理論入門 その他色々あり。講義中に紹介します。</p>				
成績評価の方法	<p>筆記試験70% 個人の取り組み30%:個人・グループでの提出物の内容、発表時の効果的なプレゼンテーション、態度(個人の取り組み姿勢、発表の参加姿勢) 以上より総合的に判断する。</p>				